

講義名	中国語資格試験準備B【GSP用】		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	関 梅		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

この科目は、GSPクラスの学生のために開設したものである。この授業では「HSK」3級受験の合格を目標としている。この授業では「中国語検定」4級の語学知識を確認しながら、「HSK」3級レベルの中国語の文法を学習し、「HSK」3級を受けるためのリスニングと筆記のトレーニングを進めていく。

2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科／2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2018年度 人間社会学部 観光学科／

到達目標

HSK 3級に合格する目標を目指す。

4技能に関する到達目標
 聞く：平易な日常会話の内容を聞いて分かり、ある程度の長文の概要を聞いて理解できる。
 話す：自己紹介ができ、短い文の質問と答えができる。
 読む：400字以内の平易な内容の中国語を理解することができる。
 書く：基本文型を応用して、少し難易度のある作文ができる。

提出課題

毎回の授業では、トレーニングの状況を確認するため、トレーニングのプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行う。また、毎週宿題のプリントも配布する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

前回の提出物の結果を講評し、習得できなかった文法項目などを復習をする。また、単語テストの結果により再テストも行う。

評価の基準

平常点（出席、提出物、小テストなど）30％
 中間テスト 30％
 期末テスト 40％
 なお、原則として1/3以上欠席した場合は失格とします。遅刻3回で1回の欠席にカウントします。

履修にあたっての注意・助言他

出席は毎時間とる。遅刻3回で欠席1回とみなす。また、原則として、授業実施時間の1/3以上欠席した場合、受験 資格なくなる。

教科書

・教科書を使用しない。

プリント資料及び参考文献

中国語検定問題の過去問題

授業計画

1. 実力測定&HSK（中国語レベル試験）の説明
2. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
3. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
4. 模擬試験による実力測定・解説
5. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
6. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
7. 模擬試験による実力測定・解説
8. 本講義の中間まとめ&テスト
9. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
10. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
11. 模擬試験による実力測定・解説
12. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
13. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
14. 文法項目・筆記、リスニングトレーニング
15. 模擬試験による実力測定・解説

授業形態（アクティブ・ラーニング）

- ア：PBL（課題解決型学習）
- イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
- ウ：ディスカッション、ディベート
- エ：グループワーク
- オ：プレゼンテーション
- カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

HSK試験3級以上を目指すには、授業外での努力は欠かせないため、毎回の授業の後にプリントの宿題のほか、Moodleにアップした音声ファイルを聞くことも宿題。また、HSK試験に必要な単語及びフレーズの小テストを順次行っていくので、そのための勉強時間も確保しなければならない。

毎日の学習時間は1時間以上が必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にICT活用をし、グループ学習の形式で授業を進めていく。教室に備えているプロジェクターを使用し、音声はiPadとコードレススピーカーを使用する。文法説明や課題の答え合わせなどについてはすべてプロジェクターで行う。また、Quizlet、Kahootもプロジェクターを利用する。

実務経験の有無及び活用

備考

受講者の習得状況に応じて授業の内容を調整する。